

2015年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	計算機システム						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	松崎 隆哲						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの中心的要素であるプロセッサの役割や内部構成を理解する。(A8) ・プロセッサの基本構成をブロック図で表現し信号の流れを説明することができる。(A8) ・プロセッサの基本的な命令の動きとデータの流れを説明できる。(A8) ・アセンブリ言語を用いた少ステップのプログラムの動作を説明できる。(A8) 						
日程と内容	4/9 導入講義・コンピュータの構成について 4/16 コンピュータにおけるデータの取り扱い 4/23 計算機の構成・命令セット 4/30 ASCの内部構成 5/7 ASCの命令サイクル 5/14 ASCの命令実行(1) 5/21 ASCの命令実行(2) 5/28 命令とデータ 6/4 メモリアクセス手法 6/6 データ構造 6/18 計算機シミュレータ 6/25 計算機シミュレータ(2) 7/2 計算機シミュレータ(3) 7/9 総合演習1 7/16 総合演習2 7/23 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習	30%	計			100%	
授業到達目標の達成度	合格者によっては理解度に差があると思うが、合格者は授業の到達目標を達成しているといえる。						
反省点	プロセッサの内部構造に関して、それぞれの構成要素がどのような役割をしてプロセッサを構成しているのかについてを重視したが、不合格者は十分理解できなかったようであった。						
来年度の計画	プロセッサの構成要素や内部動作についての説明を追加し、理解を深めていきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容に興味をもつようになったかの評価が3.6であることから、コンピュータについてあまり興味を持ってもらうことができなかった。これが、授業内容の理解が低い(3.6)理由にもなっていると思われるので、授業内容に興味を持って理解してもらえる方策を考えていきたい。また、自学自習(授業外の予習・復習)で週1時間未満が44.1%となっているので、自学自習をして理解度を増すような演習も検討したい。						
履修登録者数	79名	定期試験 受験者数	77名	合格者数	57名	合格率	74%